

令和7年度 事業方針（案）

はじめに

我が国に戦後 憲法を押し付けたアメリカで、日々 様々な大統領令により、世界の国々は受け入れざるを得ない現実を日々のまされており、アジアの中で「普通の国」に転落しようとしている我が日本を直視しながら、年老いていく我姿そのものとする考える今日この頃です。

少数与党である自民党の裏金問題について国会では野党がここぞとばかり責め立てており、昨年 10 月の衆議院選挙により、与党自民党は過半数割れになり、石破首相にとっては、七年度予算において妥協を余儀なくせざるを得なくなった国会であります。

前掲のアメリカではトランプ大統領が就任し、世界一の資産家イーロン・マスク氏をアメリカ合衆国特別政府職員に抜擢し、発足時から国内、世界の国々との軋轢が生じ、混乱の極みを露呈しております。

インドやブラジルなど人口の多い国が高度成長することで、大国の概念が大きく変わりつつあります。

我が国の少子化の原因は、ほぼ婚姻減に尽きると思われますが、婚姻数が減少しているのはすべて年収中間層です。結婚は持続的に運営される生活ですから、経済力が重要です。そのあたり女性は現実的で、2021 年の出生動向基本調査においても、結婚相手として重視・考慮する項目で「男性の経済力」は 91.6%で多数を占めております。

その結果、我が国の昨年度の出生数は、72 万 988 人で、団塊世代の数の 1/4 程度となり人口が急激に減少しております。

少子化になるということは、すべての事業者にとって、避けることができない現実であり、労働集約型の介護・看護・保育事業者には危機的な状況となっています。

しかも姫路市の転出人口は男女とも若年層を中心に転入者数よりも多く、人口減少の傾向は近畿圏内では兵庫県がトップで、神戸市から姫路に至る JR 神戸線沿いの市町が顕著であり、特に政令都市の神戸市は、人口の動向では 仙台市に続いて人口減が予測されております。このような事情で介護士・保育士養成校が就学生の減少で、養成校自体が撤退あるいは当該学科の閉鎖を余儀なくされており、そのような状況で介護士や保育士が不足しており、そして当市の各種の他の多く事業者が従業員を採用できなくて廃業に追い込まれれば、益々当県域内の少子化は急速に進んでいくものと考えます。

事業運営について

国道二号線から北側は、少子化が顕著に進行しており、利用児童数が急激に減少し、当法人発祥の六角所在の白鳥保育園以北は、一部過疎になっており、該児童数が極端に減少し、当法人としては該保育園を国道二号線より南側の姫路バイ

パス付近に移転を強く希望しており、該保育園についてはしばらく分園として残し、白鳥・峰相・書写・菅生校区の利用児童に供することも考えております。

これから保育所新設については、当法人として最後の開設と考えております。

一方 介護施設は団塊世代が後期高齢者になり、高齢者の需要が急増しますので介護士が大幅に不足するのを、60 年以上 保育所運営を続けた当該地域内での人間関係を通じ、これからも縁故採用も目指すとともに、他方、東南アジアにも老いが迫っており、生産年齢人口(15～64 歳)が全体に占める割合は 2025 年より低下に転じる見通しであり、今後 高度成長期以降の日本のような高齢化の波が押し寄せますが、現状では東南アジア諸国は「日本並み」の高齢化年金などの備えも脆弱であり、これからも海外の人材を確保する方向で施設運営を継続したいと考えます。

先日、朝日新聞の第一面に 「高齢者らが老人ホームなどの高齢者施設に入る際、施設を紹介する業者が介在し、施設側から業者に高額の「紹介手数料」が支払われるケースが相次いでいる。要介護度が高く、施設が多く報酬を得られる入所者ほど、紹介料を高額にするビジネスが横行している。」 という見出し記事があり、介護人材の派遣業者と同様、政府の政策のすき間事業を大いに警戒しながら利用せざるを得ないジレンマに陥ることが考えられます。

一方、政府は昨年から、技能実習を廃止し、育成就労を創設し、人材育成と人材確保を目的としておりますが今もって日本語教育の比率が全国市町村では半数以下となっており、70 年前の我々世代での英語教育の現場に似ており、高等教育を受けた者でも会話ができないように、各就労現場にて実地で取得することになり、時間が長くなると考えております。

他方、当会理事長の縁者が国連(ユニセフ)に勤務しており、20 年以上にわたり、タイ・東京・インド 及び 現在はシリア駐在事務所代表として赴任しており、本人は 5 月にはミャンマーへ異動することを希望しております。カンボジア・プノンペンへの送り出し機関へ彼は橋渡しをしてくれ、期待するところ大であります。

中でも高度成長しているタイでは高齢化 及び 少子化が進行し、我が国の介護ノウハウ等々の提供により、彼らと提携し、年限を限って介護・看護の実習生として受け入れる方策も求人の一つとして考慮する必要があります。

ところで少子化・核家族化・両親共働き等により、職員の中には幼児期から親や近親者にあまり愛されたことがない、また ほめられることもなく、他人の役に立ったことなどもなく、そして他から必要とされることもなくて、人間関係が上手くできなく独善的な心情により職場コミュニケーションが取れなく、退職する職員も多くなっているくらいがあります。そのような考えの中で、不適切な保育や介護にならないよう 各施設で管理・監督そして彼ら自身による自己研修を促さなければならぬと思っています。

おわりに

人に与えては徳に感ずることを求めざれ。怨みなきは便ち是れ徳なり。

與人不求感徳。無怨便是徳。

人に恩恵を施して、その恩恵に感謝することを期待するな。与えて、それで怨みを受けなければ、それがすなわち施した恩恵の報いであると考えて満足するがよい。
(菜根譚より)

2025 年度 重 点 施 策

- ① 安心・安全な介護・保育サービスの実践
- ② 介護士・看護師・保育士職の確保と 各々人材の資質向上

以上

姫路市 小学校区別 将来推計人口（表一）

24年7月

姫路市では、小学校区別に将来推計人口を算出しました。その結果、2050年には、市内の69校のうち約9割に当たる61校で人口が減少する見込みとなりました。主に、山間部や島しょ部で、50%以上の減少が見込まれます。

		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2020→2050 増減数	増減率
白鷺	中部第一	8,898	10,116	9,895	9,693	9,504	9,283	9,039	141	1.6%
野里	中部第一	4,738	4,601	4,450	4,290	4,130	3,972	3,809	▲ 929	▲19.6%
城東	中部第一	6,810	6,634	6,422	6,195	5,975	5,746	5,493	▲ 1,317	▲19.3%
東	中部第一	7,631	7,121	6,631	6,137	5,669	5,217	4,805	▲ 2,826	▲37.0%
船場	中部第一	8,538	8,964	8,743	8,546	8,387	8,211	8,034	▲ 504	▲5.9%
城西	中部第一	8,142	7,858	7,568	7,294	7,024	6,728	6,442	▲ 1,700	▲20.9%
城乾	中部第一	6,067	5,702	5,356	5,008	4,704	4,402	4,124	▲ 1,943	▲32.0%
城陽	中部第二	13,567	14,529	14,952	15,105	15,117	14,992	14,736	1,169	8.6%
手柄	中部第二	12,756	12,918	13,650	14,291	14,121	13,881	13,564	808	6.3%
荒川	中部第二	18,466	19,044	20,139	21,136	21,236	21,172	20,946	2,480	13.4%
高岡	中部第二	12,857	12,310	11,765	11,187	10,637	10,064	9,480	▲ 3,377	▲26.3%
安室	中部第二	12,047	11,787	11,456	11,100	10,758	10,393	10,024	▲ 2,023	▲16.8%
安室東	中部第二	12,017	11,442	10,895	10,340	9,809	9,279	8,740	▲ 3,277	▲27.3%
高岡西	中部第二	8,380	8,061	7,734	7,399	7,066	6,711	6,355	▲ 2,025	▲24.2%
大津茂	網干	8,210	8,549	8,724	8,804	8,836	8,794	8,695	485	5.9%
網干	網干	9,370	9,018	8,660	8,279	7,917	7,540	7,162	▲ 2,208	▲23.6%
旭陽	網干	9,997	9,544	9,125	8,669	8,212	7,736	7,246	▲ 2,751	▲27.5%
勝原	網干	12,242	12,054	11,771	11,428	11,093	10,738	10,359	▲ 1,883	▲15.4%
余部	網干	4,784	4,700	4,584	4,452	4,325	4,201	4,051	▲ 733	▲15.3%
網干西	網干	6,526	6,134	5,749	5,378	5,031	4,690	4,366	▲ 2,160	▲33.1%
広畑	広畑	6,422	6,383	6,260	6,127	5,998	5,856	5,691	▲ 731	▲11.4%
広畑第二	広畑	12,522	12,772	12,911	13,031	13,136	13,173	13,095	573	4.6%
八幡	広畑	16,221	15,925	15,565	15,140	14,683	14,202	13,681	▲ 2,540	▲15.7%
大津	広畑	12,689	12,680	12,380	12,162	11,976	11,759	11,503	▲ 1,186	▲9.3%
南大津	広畑	5,002	4,864	4,684	4,493	4,295	4,093	3,897	▲ 1,105	▲22.1%
飾磨	飾磨	15,737	15,261	14,754	14,206	13,660	13,081	12,485	▲ 3,252	▲20.7%
津田	飾磨	13,688	13,712	13,633	13,464	13,266	12,985	12,636	▲ 1,052	▲7.7%
英賀保	飾磨	15,736	15,673	15,516	15,306	15,067	14,765	14,399	▲ 1,337	▲8.5%
高浜	飾磨	14,457	14,560	14,568	14,547	14,491	14,368	14,155	▲ 302	▲2.1%
斐鹿	飾磨	4,204	3,946	3,719	3,490	3,268	3,065	2,864	▲ 1,340	▲31.9%
白浜	灘	14,883	14,187	13,535	12,818	12,125	11,392	10,652	▲ 4,231	▲28.4%
八木	灘	2,322	2,152	1,997	1,834	1,666	1,520	1,388	▲ 934	▲40.2%
糸引	灘	11,862	12,609	13,005	13,252	13,401	13,433	13,362	1,500	12.6%
的形	灘	5,638	5,338	5,021	4,701	4,402	4,106	3,827	▲ 1,811	▲32.1%
大塩	灘	6,927	6,638	6,318	6,000	5,700	5,424	5,148	▲ 1,779	▲25.7%
花田	東部	8,816	8,833	8,758	8,664	8,566	8,410	8,217	▲ 599	▲6.8%
四郷	東部	7,027	6,799	6,521	6,232	5,952	5,659	5,355	▲ 1,672	▲23.8%
御国野	東部	9,286	9,098	8,867	8,592	8,311	7,999	7,677	▲ 1,609	▲17.3%
別所	東部	8,972	9,441	9,712	9,878	10,001	10,058	10,039	1,067	11.9%
谷外	東部	5,954	6,106	6,115	6,048	5,949	5,826	5,683	▲ 271	▲4.6%
谷内	東部	1,876	1,662	1,472	1,302	1,143	992	857	▲ 1,019	▲54.3%
城北	北部	6,479	6,279	6,066	5,833	5,606	5,364	5,117	▲ 1,362	▲21.0%
広峰	北部	11,439	10,836	10,201	9,597	9,026	8,470	7,938	▲ 3,501	▲30.6%
水上	北部	10,489	10,144	9,766	9,323	8,862	8,355	7,841	▲ 2,648	▲25.2%
砥堀	北部	6,551	6,760	6,779	6,702	6,604	6,474	6,309	▲ 242	▲3.7%
増位	北部	6,097	5,747	5,425	5,071	4,724	4,384	4,063	▲ 2,034	▲33.4%

		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2020～2050 増減数	増減率
豊盛	北部	7,659	7,022	6,443	5,894	5,390	4,910	4,464	▲ 3,195	▲41.7%
山田	北部	2,526	2,293	2,086	1,900	1,727	1,555	1,394	▲ 1,132	▲44.8%
船津	北部	4,087	3,828	3,560	3,288	3,025	2,780	2,549	▲ 1,538	▲37.6%
曾左	西部	11,406	10,767	10,137	9,498	8,908	8,370	7,880	▲ 3,526	▲30.9%
白鳥	西部	5,755	5,649	5,430	5,198	4,975	4,761	4,561	▲ 1,194	▲20.7%
太市	西部	1,660	1,523	1,400	1,270	1,147	1,038	943	▲ 717	▲43.2%
林田	西部	3,342	3,074	2,827	2,558	2,310	2,082	1,876	▲ 1,466	▲43.9%
伊勢	西部	1,078	1,013	953	883	812	737	664	▲ 414	▲38.4%
埴相	西部	5,784	5,295	4,788	4,255	3,736	3,268	2,904	▲ 2,880	▲49.8%
青山	西部	10,322	9,772	9,238	8,700	8,169	7,605	7,037	▲ 3,285	▲31.8%
中寺	香寺	6,915	6,594	6,256	5,890	5,533	5,205	4,918	▲ 1,997	▲28.9%
香呂	香寺	8,260	7,931	7,588	7,211	6,844	6,474	6,112	▲ 2,148	▲26.0%
香呂南	香寺	2,827	2,636	2,449	2,249	2,047	1,870	1,708	▲ 1,119	▲39.6%
家島	家島	2,164	1,781	1,503	1,270	1,056	879	780	▲ 1,434	▲65.3%
坊勢	家島	1,915	1,730	1,503	1,488	1,377	1,276	1,166	▲ 749	▲39.1%
置塩	夢前	2,739	2,513	2,308	2,112	1,930	1,768	1,600	▲ 1,139	▲41.6%
古知	夢前	2,275	2,054	1,843	1,633	1,431	1,232	1,059	▲ 1,216	▲53.5%
前之庄	夢前	4,348	3,919	3,540	3,179	2,837	2,507	2,202	▲ 2,146	▲49.4%
蛸野	夢前	1,107	969	896	837	776	710	650	▲ 457	▲41.3%
上管	夢前	1,791	1,666	1,521	1,383	1,253	1,127	1,010	▲ 781	▲43.6%
養生	夢前	4,536	4,221	3,931	3,615	3,306	2,989	2,706	▲ 1,830	▲40.3%
安富南	安富	3,971	3,688	3,439	3,185	2,942	2,696	2,456	▲ 1,515	▲38.2%
安富北	安富	689	637	591	545	502	463	422	▲ 267	▲38.8%
合計		530,495	519,967	506,147	490,585	473,452	455,255	436,360	▲ 94,135	▲17.7%
～14歳		69,458	62,367	56,304	52,881	51,328	48,981	45,468	▲ 23,990	▲34.5%
		13.1%	12.0%	11.1%	10.8%	10.8%	10.8%	10.4%		
15～64歳		316,502	311,255	300,656	283,978	258,938	241,745	228,525	▲ 87,977	▲27.8%
		59.7%	59.9%	59.4%	57.9%	54.7%	53.1%	52.4%		
65歳以上		144,535	146,345	149,187	153,726	163,186	164,529	162,367	17,832	12.3%
		27.2%	28.1%	29.5%	31.3%	34.5%	36.1%	37.2%		
75歳以上(再掲)		74,040	87,059	89,887	87,879	88,075	91,528	100,893	26,853	36.3%
		14.0%	16.7%	17.8%	17.9%	18.6%	20.1%	23.1%		

全国的に進行する人口減少に対応するため、少子化対策などの人口減少に向けた緩和策とともに、人口減少を前提として人口減少に適応していくための取組を進めることが必要になっています。

